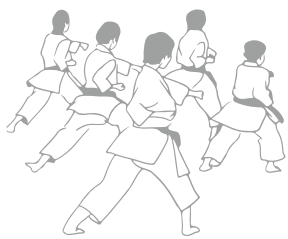


～生徒数最多・全国入賞者数最多～ 驚異の道場経営・極意皆伝



# 道場経営の 成功法則

養正館館長  
渡辺貴斗

## 【第4回】 まず初めに、道場生を増やそう！（その4）

先月号では、チラシのキャッチフレーズを作ること考えました。そのときに、在道場生のママさんにアンケートをとることの有用性につき述べました。今回は、アンケート結果から実際に効果的なキャッチフレーズを作っていく過程を見ていきましょう。

### ★アンケートからキャッチフレーズを作る

養正館で入会時にママさんに伺っている質問のひとつに、以下があります。

Q 1 養正館に入門する前に、子どもさんのどんなことで悩んでいましたか？

アンケートQ 1の結果をまとめたものが右の表です。母集団は約260世帯です。多かった順に1位から10位までを列挙します。

( )内は、同系統の回答を私がひとつにまとめました。これらママさんの生の声に触れていると、どんどんキャッチフレーズが浮かんできませんか？

たとえば1位の内気でしたら、  
「自分の意見をはっきり言えない → 自分の意見をはっきり言えないお子さんに悩んでいませんか？」

3位のあいさつでしたら、  
「自分から挨拶できない・相手の目を見ない → 相手の目を見て、自分から挨拶できるようになります！」  
のような感じです。

ひとつめは、ネガティブ系で、これを読んだママさんは自分のことを言われているように感じ、ド

- ◆ 1位 42票  
内気（自分の意見をはっきり言えない・引っ込み思案・いじめられてもイヤと言えない・自己主張できない・自分が思ったことを口に出せない・闘争心を身に付けてほしい・積極性がない・自分の思いを相手に伝えられない・人前に出るのが苦手 etc.）
- ◆ 2位 30票  
落ち着きがない（集中力がない）
- ◆ 3位 25票  
あいさつできない（自分から挨拶できない・相手の目を見ない・もじもじする・母親の後ろに隠れてしまう）
- ◆ 4位 14票  
人の話を聞けるように（最後まで話を聞けない）
- ◆ 4位 14票  
すぐにあきらめる（何をしても続かない）
- ◆ 6位 13票  
人見知りや激しい（友達が作れない・人前に出るのが苦手）
- ◆ 7位 12票  
返事ができない
- ◆ 8位 11票  
泣き虫（親から離れられない・甘えん坊）
- ◆ 8位 11票  
すぐに手が出る（友達・弟・妹）
- ◆ 10位 8票  
動きが遅い（運動が苦手）

キッとします。

ふたつめは、ポジティブ系で、これを読んだママさんは救われたような、明るい気持ちになれます。

### ★テストしてチラシを日々進化

地域性（過疎地・都心・郊外）、対象年齢（幼稚園、



小学校低学年、高学年)、配布時期(春、秋)、キャッチフレーズ(ネガティブ系・ポジティブ系)など、条件が変わると、チラシの反応も変わってきます。チラシを配布するときは、何月何日に、何のキャッチフレーズを使ったか、どの地域に配ったか、幼稚園か小学校か、など詳細を記録しておきます。

そうすると、チラシへの反応が大きかったときに、原因を簡単に突き止めることができるので、次のチラシ配布のときの参考になります。今回は、そのよかった部分は変えずに、他の部分をひとつだけ変えます。そうすると、また反応が変わりますので、良ければそれを採用し、却って悪くなれば、その変更は良くなかったということになります。しかしながら、反応が悪かったからと言って、それは失敗(ムダ)ではありません。その選択は次からやらなければよい、ということが分かったので、確実に完成に一步近づいたことになるからです。

### ★条件をひとつだけ変える

テストをするときのポイントとして、焦って複数変えないということです。複数変えてしまうと原因が何か分からなくなってしまうからです。私は元理系の研究者でしたが、実験するときもひとつだけ条件を変えて結果に差が出るか調べます。複数条件を変えると、結局、何が原因だったのか、もう一度調

べ直すことになり、二度手間だからです。急がば回れということです。

### ★自分の地域にあったフレーズを

ここでみなさんが注意しなくてはならないのは、養正館のママさんのアンケート結果をそのまま利用しても、みなさんの道場チラシに有効か保証は無いということです。なぜなら、この結果は、人口20万人、東京から新幹線で1時間、静岡県の郊外である沼津市という特殊な地域に住むお子さんを持つママさんの声であり、みなさんの地域でそのまま採用しても効果があるか分からないからです。

たとえば、関東と関西でもママさんの悩み事は微妙に異なるでしょう。もっと分かりやすく言えば、アメリカ人のママさん、中国人のママさん、日本人のママさんでは、子育ての悩みはかなり異なるはずで、よって、ご自分でアンケートをとり、ママさんの生の声を解析して独自の効果的なキャッチフレーズを見つけることをおススメいたします。そこまでやっている道場は近隣に無いはずですので、地域で一人勝ちできることでしょう。

### PROFILE

■渡辺貞斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から研修会副会長・渡辺貞雄(父)に師事。2001年に父の町道場を継ぎ、2006年からコーチングを導入した指導法に切り替えると、2010年に全少優勝者を早々に輩出。その後、2014年7名、2015年7名、2017年9名など、1道場からの「全少の全国最多入賞者数」を少なくとも8年連続で記録する。

1道場に380名の道場生が在籍し、道場経営でも全国一を誇る。100回以上続いたJKFanでの連載「ZENSHOに行こう」で、空手キッズの指導にコーチング理論を導入し体系づけた空手界の第一人者。東京大学大学院博士号を持つ異色の指導者でもある。

空手道場 養正館 / 静岡県沼津市本町 11-12



## ひと休み Column

### 子供への声掛けと道場経営に役立つ！ 人生を変えるおススメ本！(第9回)

#### ■齋藤孝著『友だちってひつようなの?』



この本は、~齋藤孝の『負けない!』シリーズ~の3冊目で、児童が抱える悩みや問題を解決するための方法を、マンガを通して楽しく解説しています。

養正館では、空手ノートに学校での悩み事を打ち明けてくる子がときどきいまして、「友達一人もいない」、「友達とうまくいっていない」などといった交友関係における悩みを、何度か解決したことがあります。子どもたちの学校での最大の関心事は、何といても交友関係です。彼らは一人ぼっちになることを恐れ、一人になるよりはマシだと考えてどこかのグループに所属しようとする(気が合わない仲間でも)。しかしながら、齋藤先生は「一人ぼっちでもいいじゃないか?」と提案しています。人付き合いに悩む大人にも参考になる内容かと思えます。

道場では、交友関係で悩んでいる道場生を見つけたら、この本をプレ

ゼントしています。「友達100人できるかな♪」という歌を園で歌いますが、1年生になったら友達をたくさん作らなくてはならない、友達が多いのは良いことだ、という固定観念・強迫観念にとらわれるようになります。実はそんな必要は無いのだと、今までの凝り固まった価値観が崩壊していく画期的な内容です。この本はリメイク版でして、~そんな友だちなら、いなくたっていいじゃないか! 齋藤孝の「ガツンと一発」シリーズ③~という本が前身となっています。オリジナル版を今まで多くの道場生にプレゼントしてきました。旧版は文字が9割以上を占める構成でしたが、今回紹介するリメイク版はマンガ9割構成に変更となり、SNSとの付き合い方など今風の内容も加筆されていますので、イマドキの子ども、低学年の児童も読みやすい内容となっております。